

環境負荷の全体像

2009年度の環境パフォーマンスのポイント

使用済み製品の回収ならびに再資源化に努め、回収量は前年度比7%増加しました。また、再資源化を進めることで、再資源化量は前年度比136t増加し、廃棄物埋立最終処分量は前年度比48%に減少しました。

CO₂排出量は前年度比480t-CO₂減少しました。省エネの取り組みに加えて生産量の減少が影響しました。

今後もさらに環境負荷の低減に向けて、新たな中長期目標として「2015年度に2005年度比、全社でエネルギー使用量を23%、CO₂排出量を15%削減する」を設定し、積極的に取り組んでいきます。また、メーカーとして製品における環境配慮、回収・リユース・リサイクルにおける再資源化率の向上、埋立最終処分量の低減が重要であると認識し、活動していきます。

注) CO₂排出量のうち、ガソリン由来のCO₂排出量は販売時の社有車使用分のみを集計しているため、全社(国内)CO₂排出量および売上高原単位の推移のグラフ(P.12)と異なります。

【集計範囲】 右表の事業工程ごとのINPUT/OUTPUTを集計しています。

【集計対象】 日本国内。

- ・ 開発・設計、生産でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量、水使用量と排水量、廃棄物排出量。
- ・ 生産での物質投入量、PRTR対象化学物質投入量と移動・排出量。販売での社有車のガソリン使用量とそれに伴うCO₂排出量。
- ・ 回収・リユース・リサイクルでの使用済み製品回収量と廃棄物排出量。
- ・ 本社ならびに営業部門でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量は含んでいません。

INPUT

	2008	2009	2008年度比(%)
エネルギーの使用量内訳			
電気 (MWh/年)	8,707	8,010	92
LPG (t/年)	66	53	80
A重油 (kl/年)	150	148	99
ガソリン (kl/年)	542	516	95
委託貨物輸送量 ^{※6} (万t・km)	1,221	1,163	95
水の使用量 (m³)	36,580	34,099	93
金属 (t)	2,560	1,820	71
プラスチック (t)	1,556	1,466	94
ガラス (t)	29	25	86
紙 (t)	2,860	2,747	96
その他 (t)	4,205	4,009	95
小計	47,790	44,166	92
PRTR対象化学物質 (t)	2.3	2.2	96
回収量 (t)	2,573	2,748	107

OUTPUT

	2008	2009	2008年度比(%)
CO₂排出量 (t-CO₂/年)	8,903	8,423	95
電気 (t-CO ₂ /年)	4,833	4,446	92
LPG (t-CO ₂ /年)	198	159	80
A重油 (t-CO ₂ /年)	407	401	99
ガソリン (t-CO ₂ /年)	1,257	1,228	98
委託貨物輸送量 ^{※6} (t-CO ₂ /年)	2,208	2,189	99
排水量 (m³)	24,635	23,827	97
蒸気放散・散水その他 (m ³)	7,436	5,989	81
製品 ^{※5} (t)	15,719	14,350	91
小計	47,790	44,166	92
PRTR対象化学物質			
大気への排出量 (kg)	35	4	11
水域への排出量 (kg)	0	0	—
土壌への排出量 (kg)	3	2	67
廃棄物への移動量 (kg)	15	21	140
廃棄物排出量 ^{※1} (t)	3,854	3,985	103
再生投入量 ^{※7} (t)	348	403	116
再資源化量 ^{※2} (t)	3,396	3,532	104
その他 ^{※3} (t)	41	17	41
埋立最終処分量 ^{※4} (t)	69	33	48

CO₂排出量の算定について

電力:0.555kg-CO₂/kWh、ガソリン:2.32kg-CO₂/ℓ、A重油:2.71kg-CO₂/ℓ、LPG:3.00kg-CO₂/kg

(平成22年3月の温対法の改正により電気については電力会社ごとの換算係数を用いることになりましたが経年変化を見るために共通の換算係数として0.555を用いています。)

※1 廃棄物排出量: 当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるものを全てを廃棄物としています。

※2 再資源化量: 再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量に有価物を含めた合計量で、工程に再投入される量は除きます。

※3 その他: 再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量など。

※4 埋立最終処分量: 埋立処分される量、再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含みます。

※5 製品: 高速カラープリンター「オルフィス」、デジタル印刷機「リソグラフ」およびそれらのインク、マスターのサプライ品。

※6 輸送業者への委託貨物輸送量: 輸送業者に委託する製商品、部品・パーツの配送・調達、使用済み製品の回収、廃棄物の搬送などの輸送量。

※7 再生投入量: 再資源化処理されたもののうち原材料として工程に再投入される量。

事業工程ごとのINPUT/OUTPUT

事業工程	INPUT			OUTPUT				
	2008	2009	2008年度比(%)	2008	2009	2008年度比(%)		
開発・設計	製品開発におけるエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量などを表します。							
【集計範囲】 開発技術センター(筑波事業所内) K&I開発センター(若葉事業所内) S&A開発センター(徳栄ビル内) 但し、開発技術センターの水の使用量、排水量は単独での数値把握ができないため下記の生産(筑波事業所)の項に含めています。	エネルギーの使用量内訳			CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)				
	電気 (MWh/年)	2,414	2,263	94	電気 (t-CO ₂ /年)	1,361	1,277	94
	LPG (t/年)	7	7	100	LPG (t-CO ₂ /年)	21	21	100
	水の使用量 (m ³)	3,136	2,891	92	排水量 (m ³)	3,136	2,891	92
					廃棄物排出量 ^{※1} (t)	153	239	156
					再資源化量 ^{※2} (t)	149	235	158
					その他 ^{※3} (t)	1	1	100
					埋立最終処分量 ^{※4} (t)	3	3	100
生産	生産した主要製品 ^{※5} への材料投入量とエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量、廃棄物排出量などを表します。							
【集計範囲】 筑波事業所(開発技術センター除く) 宇部事業所、霞ヶ浦事業所	エネルギーの使用量内訳			CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)				
	電気 (MWh/年)	6,293	5,747	91	電気 (t-CO ₂ /年)	4,077	3,729	91
	LPG (t/年)	59	46	78	LPG (t-CO ₂ /年)	177	138	78
	A重油 (kl/年)	150	148	99	A重油 (t-CO ₂ /年)	407	401	99
	水の使用量 (m ³)	33,444	31,208	93	排水量 (m ³)	21,499	20,936	97
	金属 (t)	2,560	1,820	71	蒸気放散・散水その他 (m ³)	7,436	5,989	81
	プラスチック (t)	1,556	1,466	94	製品 ^{※5} (t)	15,719	14,350	91
	ガラス (t)	29	25	86				
	紙 (t)	2,860	2,747	96				
	その他 (t)	4,205	4,009	95				
	小計	44,654	41,275	92	小計	44,654	41,275	92
	PRTR対象化学物質 (t)	2.3	2.2	96	PRTR対象化学物質			
					大気への排出量 (kg)	35	4	11
					水域への排出量 (kg)	0	0	—
					土壌への排出量 (kg)	3	2	67
					廃棄物への移動量 (kg)	15	21	140
					廃棄物排出量 ^{※1} (t)	1,128	998	88
					再資源化量 ^{※2} (t)	1,080	975	90
					その他 ^{※3} (t)	40	16	40
					埋立最終処分量 ^{※4} (t)	8	7	88
販売	お客様への販売活動や保守サービス活動などに際して使用する車両の燃料、CO ₂ 排出量を算出しています。							
【集計範囲】 国内営業拠点および子会社	エネルギーの使用量内訳			CO ₂ 排出量内訳				
	ガソリン (kl/年)	542	516	95	ガソリン (t-CO ₂ /年)	1,257	1,228	98
	輸送業者への委託貨物輸送量 ^{※6} (万t・km)	1,221	1,163	95	委託貨物輸送量 (t-CO ₂ /年)	2,208	2,189	99
回収・リユース・リサイクル	使用済みとなった製品の回収量およびリユース、リサイクル量を表します。 なお、回収した製品の有効利用を進めています。一部埋立処分も行っています。							
【集計範囲】 日本国内の使用済み製品	回収量 (t)	2,573	2,748	107	廃棄物排出量 ^{※1} (t)	2,573	2,748	107
					再生投入量 ^{※7} (t)	348	403	116
					再資源化量 ^{※2} (t)	2,167	2,322	107
					その他 ^{※3} (t)	0	0	—
					埋立最終処分量 ^{※4} (t)	58	23	40

※1 廃棄物排出量: 当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるものを全てを廃棄物としています。

※2 再資源化量: 再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量に有価物を含めた合計量で、工程に再投入される量は除きます。

※3 その他: 再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量など。

※4 埋立最終処分量: 埋立処分される量、再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含みます。

※5 製品: 高速カラープリンター「オルフィス」、デジタル印刷機「リソグラフ」およびそれらのインク、マスターのサプライ品。

※6 輸送業者への委託貨物輸送量: 輸送業者に委託する製商品、部品・パーツの配送・調達、使用済み製品の回収、廃棄物の搬送などの輸送量。

※7 再生投入量: 再資源化処理されたもののうち原材料として工程に再投入される量。

注1)・・・生産工程のINPUT/OUTPUTの集計範囲に2008年度に遡って、2009年2月発売のオルフィスXシリーズを加えました。

注2)・・・筑波事業所内の電気使用量において生産分と開発分の集計に重複部分があり、2008年度に遡り修正しました。

注3)・・・昨年度報告の開発・設計工程のLPGの使用量および同CO₂排出量に換算ミスがあり修正しました。

(誤 使用量 4t、CO₂排出量12t-CO₂ ⇒ 正 使用量 7t、CO₂排出量21t-CO₂)